

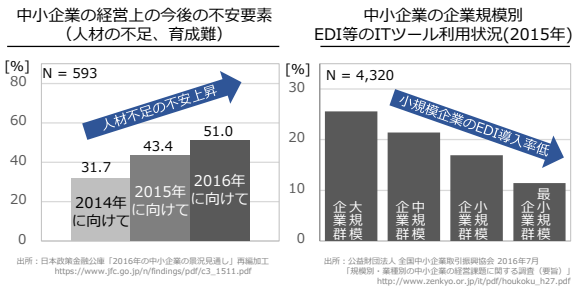
本事業のここまでの取り組みから、EDIの普及に向けた**7つの自走化サービスモデルの仮説**と、EDIの普及により中小企業の**生産性が6.7%向上**する試算結果を導いている。

今後、本事業において**サービスモデル毎に普及計画の具体化**を行うとともに、**金融EDI等との連携による受発注EDIの高付加価値化に向けた取り組み**についても検討を行う。

第1章 事業の背景と目的

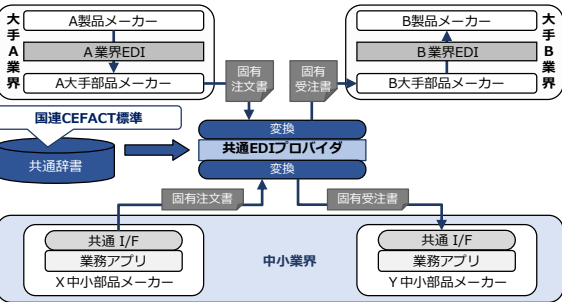
本事業の背景

我が国では、生産年齢人口減少に伴う「**人材不足**」の不安が中小企業で年々高まり、**生産性向上が不可欠**である。一方**受発注のIT化が進まず、その阻害要因**となっている。



課題解決の基本的な考え方

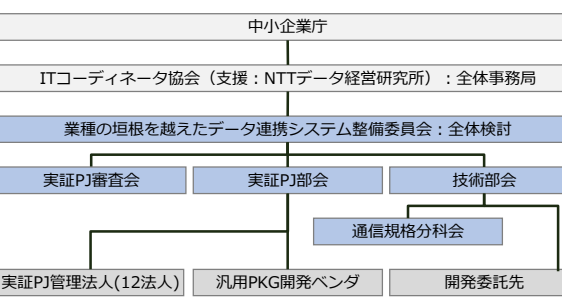
受発注の生産性向上のため、既存EDIの課題である「**業種の垣根**」を越える必要がある。そこで、**国連CEFACT標準に基づくデータ連携基盤**を構築し、その解決を図る。



第2章 事業の構成と内容

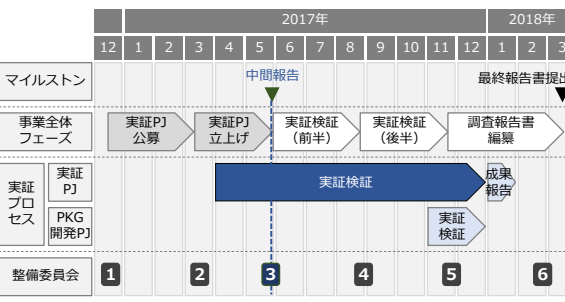
事業実施体制

当事業では、効果測定・普及モデル確立のため**多様な実証PJを公募・採択**した。**各界識者を集めた整備委員会**、および専門的な各部会を設置し、**実証検証を元に検討**を進める。



事業全体スケジュール

2017年4～12月に、各実証PJの実証検証、並びに実証PJ間の連携実証を行い、**2018年3月に最終報告**をまとめる。本中間報告は、5/29第3回整備委員会にて報告された。



第3章 データ連携仕様等の検討

実証検証における開発要件

企業間データ連携の**標準化を見据えて、国連CEFACT準拠のメッセージ仕様などを開発の要件**として示した。

- 参照資料
- ① 中小企業共通EDI仕様 v3.1 解説書
 - ② 中小企業共通EDIメッセージガイドライン
 - ③ 中小企業共通EDI実装ガイドライン
- メッセージ仕様
- メッセージ仕様は①、②に基づく。新しい業種メッセージの提案があった場合は、国連CEFACT日本委員会SIPS経由で国際標準化を検討。
- 実装仕様
- 実装仕様は③に基づく。データ連携プロバイダ、オンプレミス業務アプリケーション、クラウド業務アプリケーションについて記載。

関連ツールの整備

本事業の効果を高めるため、**メッセージ作成支援、実装支援の2つのツール**について、**仕様策定・開発**を行なった。

- 業界横断EDI仕様活用ツール
- 共通EDI仕様を構成する各種文書、メッセージ辞書、コード表およびXMLスキーマ情報を管理することを目的とし、業界横断データ辞書項目に基づく業務ドメイン毎の共通EDIメッセージの定義・作成を支援する機能を提供。
- データ連携ITツール
- 各実証プロジェクトが共通EDI連携アプリケーションを開発して実証検証を実施するに先立ち、開発アプリケーションの連携機能確認のためのテスト環境を提供。また、共通EDIエンジン機能を切り出してパッケージ化し、利用を希望する実証PJのITベンダーへ提供。

EDI普及に向けた技術検討

今後のEDI普及課題を見据え、実証PJを元に**大企業の既存システム等との接続**や**金融等EDI拡張の技術検討**を行なう。

- 大企業の既存システム等との接続
- 実証PJの取り組みを元に4接続形態に分類し技術検討。
- | 中小企業共通EDI直結 既存EDI-ASP経由 | | | |
|-------------------------|--------|-------|-------|
| 購買取引 | 11.水いん | 12.静岡 | 9.自動車 |
| 販売取引 | 12.静岡 | | 5.業務品 |
- データ連携対象の拡張
- 商流連携以外の実証PJの取り組みを元に技術検討。
- A) 金融分野への連携拡張
- | | | |
|-------------------|------|--------|
| i. 入金消込問題の解消 | 6.豊田 | 8.サビ工業 |
| ii. POファイナンスの実現検討 | | 10.多摩 |
- B) IoT分野への連携拡張
- | | |
|---------------------|-------|
| i. 「生産情報」「検査結果情報」等 | 6.豊田 |
| ii. 「工程管理情報」「在庫情報」等 | 10.多摩 |

第4章 実証プロジェクトの内容

実証プロジェクトと実施内容

実証PJ審査会による厳正な書面・ヒアリング審査を経て、**12のコンソーシアムによる実証PJ**を採択した。これらPJは**6つの業界と5つの地域**からなり、商流以外に**金融やIoTと連携した取り組み**がある等、その多様性から実証検証の価値を高めている。

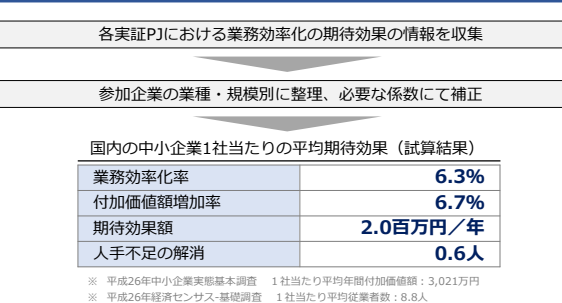
#	実証PJ名【カッコ内は通称】	管理法人名	特徴	#	実証PJ名【カッコ内は通称】	管理法人名	特徴
1	農林水産業界（鮮魚）における日本とインドネシア間の共通EDI連携【水産】	株式会社 アカサリ・ジョバ	✓ 農林水産業界での取組 ✓ 物流のトレーサビリティと連携する取組	7	碧南商工会議所における中小企業共通EDI連携【碧南】	株式会社 ウッド・ボンス	✓ 碧南地域での取組 ✓ 海外工場の生産管理情報とリアルタイムに連携する取組
2	北海道の中小企業における次世代共通EDI連携【北海道】	株式会社 イークラム	✓ 北海道地域での取組	8	中小サビ工業界におけるクラウド型共通EDI連携【サビ工業界】	株式会社 スマイル・ケース	✓ 中小サビ工業界での取組 ✓ 金融EDIと連携する取組
3	大阪発の中小製造業におけるデジタル情報共通EDI連携【大阪】	株式会社 ウル	✓ 大阪発の取組 ✓ AIを活用したデジタルマッチング機能、生産管理情報と連携する取組	9	自動車業界における共通EDI連携【自動車】	トヨタ株式会社	✓ 自動車業界での取組 ✓ カバノン方式による生産管理情報と連携する取組
4	貿易手続に係る輸出業界の共通EDI連携【貿易】	株式会社 NTTデータ	✓ 輸出業界での取組 ✓ AIを活用したデジタルマッチング機能、金融EDIと連携する取組	10	多摩地域活性化のためのビジネス情報共通EDI連携【多摩】	武州工業株式会社	✓ 多摩地域での取組 ✓ ファイナスと連携する取組
5	業務品の卸・小売業界における共通EDI連携【業務品】	花王株式会社	✓ 卸・小売業界での取組	11	水いん業界における共通EDI連携【水いん】	マクオター株式会社	✓ 水いん業界での取組
6	豊田商工会議所における共通EDI連携【豊田】	小島アグ工業株式会社	✓ 豊田地域での取組 ✓ 金融EDIと連携する取組 ✓ IoTと連携する取組	12	静岡発IoTデジタルファクトリーにおける共通EDI連携【静岡】	矢崎部品株式会社	✓ 静岡地域での取組 ✓ 設計・開発情報と連携する取組

実証PJは「中小企業を含む発注企業・受注企業」「データ連携プロバイダ」「業務アプリベンダー」等から構成されるコンソーシアムを単位とし実証に臨む

第5章 期待効果とサービスモデルの検討

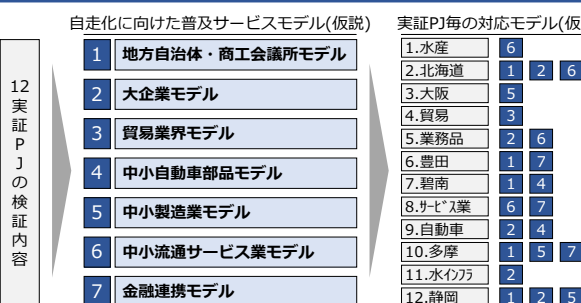
期待効果の試算

EDI導入による国内中小企業の期待効果は **平均付加価値額 3,021万円/社が6.7%増加**と試算できた。これは**8.8人/社規模の企業における0.6人の人手不足解消**にあたる。



自走化に向けた普及サービスモデルの仮説検討

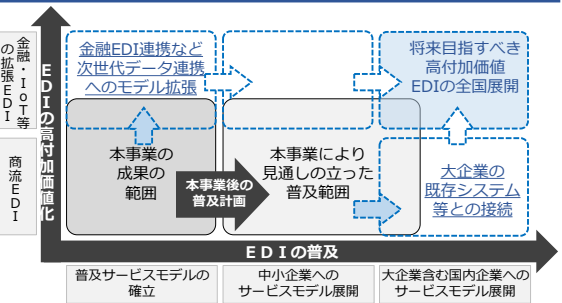
実証PJの取り組みから、**自走化に向けた7つのサービスモデルの仮説**を立てた。今後、各モデルに対応する実証PJを交え、**サービスモデルの具体化・普及計画の立案**を行なう。



第6章 今後の展開と課題

必要な取り組みの全体像

本事業から、EDI普及に一定の目処は立つが、**今後更に企業の生産性を高めるためには、大企業の既存システム等との接続や金融EDI連携等の実現**に取り組む必要がある。



次のステップで取り組むべき事項の検討

企業間データ連携の次のステップとして、**金融EDIと連携して受発注から決済までストレートに「つながる」**ことが期待され、**国連CEFACTに準拠した実証検証**が有効。

